

やはば

議会だより

193
2015.7.16
岩手県
矢巾町議会

心をつなげ 徳田っ子
(徳田小学校)

矢巾町議会 新たな構成でスタート..... 2

議会からのおしらせ
町民と議会との懇談会3地区で開催..... 20

一般質問
高橋町長の政策を問う 一般質問9議員..... 9

構成でスタート

おいて、新しい議会構成を決定しました。
選出し、新たな矢巾町議会が始まりました。

開かれた
議会を目指す



議長
廣田 光男（二心会）

このたび5月会議において議長に就任いたしました。誠に光栄であり、身の引き締まる思いであります。
議長たるものは議会活動を主宰し議会を代表するもので、大変重要な役割を課せられたところであります。公明で公正な中立性と尊厳性を保つ必

各議員の抱負

こんな町を
作りたい



副議長
米倉 清志（公明党）

福祉政策の向上、市民の健康を守り、子どもの英語学習に力を注ぎます。生きがいのある町、農商工業が発展できるまちづくりに努めます。



赤丸 秀雄（二心会）

子育て世帯への支援制度充実、高齢者世代が安心・安全に暮らす環境を目指し、矢巾に住みたい、住んで良かったと思えるまちづくりに努めます。



齊藤 正範（矢巾明進会）

町民が住んで良かったと実感できるまちづくり、特に若い世代が安心して結婚・出産・子育て出来る矢巾町をつくりたい。



村松 信一（矢巾明進会）

安心・安全な農産物や地域コミュニティを大切にし「ともに生きともにつくる」自然と調和にみちた全員参加のまちづくりに努めてまいります。



昆 秀一（二心会）

夢と希望と笑顔にあふれた町を町民一体となつて作っていく。そのために開かれた行政にしていき、特に弱い立場の方に優しい町を作っていく。



高橋 七郎（矢巾政友会）

夢と希望に満ちた暮らしができるよう安全安心な町を目指し、活力ある農・商・工の発展、駅周辺の開発促進により元気のある町づくりをしたい。



長谷川 和男（矢巾明進会）

町民の誰もが、安心して暮らせる地域環境を整え、特に子育てに特色ある支援策の充実を図り、将来に夢と希望の持てる町創りを目指して参ります。



川村 よし子（日本共産党）

日頃から憲法が身近に感じられ、子ども・高齢者の誰もが幸せを感じられる、住んでよかったと実感できる町づくりをしていきます。

町議会

新たな

5月8日に開かれた平成27年定例会5月会議に 議長に廣田光男議員、副議長に米倉清志議員を

要があると思います。

議会の課題としては、前期に定めた議会基本条例の趣旨を十分に検証し、さらに引き続き議会改革を推進して町民の皆様説明責任を果たしていくことだと私は考えております。

町民目線を常に念頭に置き、一層の開かれた議会を目指し、町民と議員との懇談会等の情報公開の確立を図ってまいります。

町長とは常に是々非々の立場を貫き、議会本来の任務である行政の監視役としての機能が十二分に発揮できるように、議会のリーダーとして誠心誠意努力してまいります。

議会の新たな議員構成が確立されたことから、それぞれの持分に対して積極的にかつ粉骨砕身取り組み、矢巾町政の発展に寄与して行くことを誓い、議長就任の抱負といたします。



高橋 安子 (町民の会)

「女性と若者が輝くふるさと」を目指し、地域の声を町政に反映し、誰もがこの町に住みたいと思える、元気で優しさ溢れるまちづくりをしたい。



廣田 清実 (町民の会)

明るく安心な町！行政サービスの充実、教育環境の整備等、対策を行い矢巾に生まれて、また移り住んで良かったと思える町を住民目線で作ります。



水本 淳一 (町民の会)

地域産業の推進、福祉、生涯学習等の充実を図り、進む少子化、過疎化を食い止める、誰もが心身ともに健康で生きがいの持てる環境を整えたい。



山崎 道夫 (二心会)

平和憲法の精神の下、教育環境の整備をはじめ、若者が希望を持てる社会環境づくりと雇用の確保に努め、災害に強い町づくりに取り組んでいきたい。



川村 農夫 (二心会)

医大移転に伴う一極集中のみならず、周縁地域の人口減少対策として、農村部にも若者や、新規定住者が増えていく政策に取り組むことこそ使命です。



藤原 梅昭 (二心会)

「まちづくりは人づくり」の精神で、安心の笑顔あふれ、誰もが夢と希望を持ち魅力あるまち、将来世代に誇れる町創りに誠心誠意尽くします。



藤原 義一 (山ゆり会)

災害に強く安全で安心な環境の整備が必要であり、自主防災組織への支援が大切。若者の働く場の確保と地場産業の振興が重要と考える。



藤原 由巳 (山ゆり会)

豊かな農地で安全・安心な食料を生産し、多くの学び舎には未来を担う若者の集い、市街地では活力とにぎわいを創出する、将来に誇れる町を。



小川 文字 (日本共産党)

町民の声を聞き、いつしよに考え町政に反映できるようにがんばります。安心して暮らせる、思いやりに満ちた温かい矢巾町をつくりたい。

() 内は7月16日現在所属する会派名

各委員会の構成

総務常任委員会

町の行財政に関し、他の委員会に属さない事務の調査及び議案、請願、陳情等の審査を行います。

委員長	藤原由巳	副委員長	小川文子
委員	廣田清実 廣田光男	山崎道夫	長谷川和男

産業建設常任委員会

農林・商工・道路河川等に関する事務の調査及び議案、請願、陳情等の審査を行います。

委員長	藤原梅昭	副委員長	村松信一
委員	高橋安子 藤原義一	昆秀一	高橋七郎

教育民生常任委員会

教育・福祉分野に関する事務の調査及び議案、請願、陳情等の審査を行います。

委員長	齊藤正範	副委員長	赤丸秀雄
委員	水本淳一 米倉清志	川村農夫	川村よし子

予算決算常任委員会

予算・決算および基金の設置、歳入予算を伴う条例などの審査を行います。

委員長	山崎道夫	副委員長	藤原梅昭
委員	議長、委員長、副委員長を除く議員15名		

広報広聴常任委員会

議会広報紙の編集、インターネット等の活用、議会報告会や各種団体との意見交換の企画を行います。

委員長	昆秀一		
副委員長	齊藤正範	藤原梅昭	
委員(広報)	廣田清実	高橋安子	村松信一
委員(広聴)	赤丸秀雄	水本淳一	小川文子

議会運営委員会

議長の諮問に応じ、議会の会期日程や議会運営などに関する事項についての調整を行います。

委員長	川村農夫	副委員長	藤原由巳
委員	廣田清実 山崎道夫	齊藤正範 小川文子	藤原梅昭

議員の費用弁償を廃止

定例会4月会議が4月9日、定例会5月会議が5月8日に開催され、人事案件等を審議しました。

議員発議

議員の費用弁償等に関する条例の一部改正

(4月会議)

▽3月会議で制定された議会条例により、新たに政務活動費が交付されます。これに伴い、委員会に出席した際の費用弁償の規定部分を削除するものです。

【主な質疑】

質問 本条例は3月会議の議会条例制定と同時に上程されるべきものではなかったのか。また、予算の組み替えを行って政務活動費に充当するものとのことだが、町民への説明を行うべきではないか。

答弁 本来であれば費用弁償の廃止を先に行い、政務活動費の支給を行うという流れにするべきであった。議会での組替については内容を十二分に説明責任を果たさなければならぬ。

人事案件

農業委員の推薦



村松 とも子さん
(広宮沢1区)

条例

矢巾町税条例の一部を改正

(5月会議)

▽地方税法及び地方税法施行令並びに地方税法施行規則が改正されたことに伴い、ふるさと納税・住宅ローン減税の期限延長・固定資産税の特例延長・軽自動車税・たばこ税・国民健康保険税などが改正されます。

補正予算

補正予算は、5月会議で設置された予算決算常任委員会に付託され、審議が行われました。一般会計についての補正予算が計上され、児童手当受給者に対する給付金、住民税非課税対象者に対しての給付金4018万円を追加し、総額は約90億8348万円となりました。

人事案件

副町長の選任に同意



伊藤 清喜さん
(南矢幅2区)

監査委員の選任に同意

長谷川 和 男 議員

長谷川和男議員を議会選出監査委員として選任しました。



請願審査のため現地調査をする産業建設常任委員会

小学3年生までに 通院医療費助成を拡大

定例会6月会議は6月8日、18日の期間で開催され、条例案や補正予算の審議を行いました。

条例

福祉医療資金貸付基金

条例の一部改正

小学生医療費給付要綱等の改正により、貸付金額を要綱の助成金額と対応させたものです。

質問 貸付の件数については、どのようなになっているか。返納状況は、どうなっているか。

答弁 乳幼児は16件、妊産婦は2件、ひとり親家庭は2件、重度身体障害者71件となっている。返納については100%返納されている。

介護保険条例の

一部改正

低所得者である、介護保険第1段階保険料の負担を年間3500円軽減します。

【主な質疑】

質問 保険料について、年金生活者にとっては大きな負担となっているが、この負担をどう考えるか。

答弁 サービスの質、制度の維持のためにも相応の負担をお願いしている。

補正予算

補正予算は、一般会計と1特別会計について計上され、

一般会計は8044万円を追加し、約91億6393万円となりました。主な内容は次の通りです。

主な歳入

- ▽共通番号制度導入 事業補助金 1692万円
- ▽保育所運営費負担金 352万円
- ▽低所得者保険料軽減負担金 162万円

主な歳出

- ▼小学生医療費助成事業 867万円
- ▼矢巾斎苑整備事業 819万円
- ▼生活道路整備事業 638万円
- ▼教育振興総務事業 使用料及び賃借料 140万円

【主な質疑】

質問 小学3年生までの通院医療費助成について、今後対象を拡大してはどうか。

答弁 8月診療分から適用になるため、その後の推移をしっかりと見極めていきたい。

質問 教育振興総務事業使用料及び賃借料の内訳は。

答弁 学校行事等に使用していた教育委員会所有のマイクロバスを廃車にするため、リースで使用するための賃借料を見込んだ。

質問 道路新設改良、橋梁整備の場所はどこか。

答弁 新設改良は協働の道づくり事業で室岡地区1箇所、町道白北線の電柱、消火栓の移設、橋梁災害復旧で岩崎川橋の仮橋歩道を移設するものである。



移設工事予定の岩崎川仮橋

矢巾斎苑の駐車場用地を

追加整備

質問 矢巾斎苑の整備費の内訳と駐車場整備の具体的な予定は。

答弁 平成26年度に、北側の3筆1279平方メートルを購入した。

さらに3筆の地権者より駐車場用地を取得し、乗用車60台分と併せ、バスの駐車場を確保する予定である。

内訳は用地の購入と、工事請負費であり、年度内に工事を完成できるようにしたい。

質問 マイナンバー制度に関連して、今後、住民基本カードの使用はどのようになるか。

答弁 期限があり、その期限までは住基カードを利用することになる。マイナンバーカードは申請した方に発行することになる。

質問 マイナンバー制度の導入は、情報漏えいをうけて一

時見直しという方針になっているが、共通番号制導入事業は中止にできないのか。

答弁 共通番号制度導入の中止という国からの通知がないため、計画通り事業を進めていく。

人事案件

監査委員の選任に同意



吉田 功さん
(間野々行政区)

議員発議

特別委員会を設置

▽「矢幅駅前地区土地区画整

理事業調査特別委員会」と「新しいまちづくり調査研究特別委員会」を設置しました。

委員会は、議長を除く17名の議員で構成されます。

駅前地区土地区画整理事業、岩手医大附属病院を核としたまちづくりを検証し、今後議会が進捗状況を報告してまいります。

議会会議規則の一部を

改正

▽女性議員が出産する場合でも議員活動に妨げがないよう、規則を新たに設けました。

財産取得

消防ポンプ自動車を

更新

▽22年経過した第2分団第8部の消防自動車を更新

1917万円



昨年度更新された第1分団第2部の消防ポンプ自動車

みなさんからの請願

▽道路整備事業に関する請願

請願者 煙山自治会

会長 村松 隆夫

紹介議員 高橋 安子

全員賛成

採択

審査意見

請願路線は、2路線とも矢巾スマートインターチェンジ西側下り線の接続路線であるが、インターチェンジの開通により、交通量は相当増加することが見込まれる。

いずれも煙山小学校・矢巾北中学校の通学路であることから、安全・安心な環境を確保するためにも整備が必要である。

各議案の採決状況

平成27年定例会 4 月会議

議案番号	提出議案	議員名																採決結果		
		齊藤正範	藤原由巳	村松信一	山崎道夫	川村農夫	小川文子	谷上哲	廣田光男	秋篠忠夫	芦生健勝	昆秀一	村松輝夫	藤原梅昭	川村よし子	米倉清志	高橋七郎		長谷川和男	藤原義一
発議案9号	矢巾町農業委員会委員の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議案10号	議員の費用弁償廃止に関する条例の一部改正	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○=原案に賛成 ●=原案に反対 可=可決

注：藤原義一議長は採決に加わらない。

平成27年定例会 5 月会議

議案番号	提出議案	議員名																採決結果		
		赤丸秀雄	水本淳一	廣田清実	高橋安子	齊藤正範	村松信一	昆秀一	藤原梅昭	川村農夫	山崎道夫	高橋七郎	長谷川和男	川村よし子	小川文子	藤原由巳	藤原義一		米倉清志	廣田光男
議案37号	副町長の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案38号	議会選出監査委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案39号	固定資産評価員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案40号	一般会計増額補正（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○=原案に賛成 ●=原案に反対 可=可決

注：廣田光男議長は採決に加わらない。

平成27年定例会 6 月会議

議案番号	提出議案	議員名																採決結果		
		赤丸秀雄	水本淳一	廣田清実	高橋安子	齊藤正範	村松信一	昆秀一	藤原梅昭	川村農夫	山崎道夫	高橋七郎	長谷川和男	川村よし子	小川文子	藤原由巳	藤原義一		米倉清志	廣田光男
議案41号	識見監査委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案42号	病院での窓口負担を貸付けする基金条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案43号	低所得者の保険料を軽減する介護保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案44号	一般会計増額補正（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案45号	介護保険事業特別会計の増額補正（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案46号	消防ポンプ自動車の取得に関する議決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議案11号	女性議員の出産に関する会議規則の新設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議案12号	矢幅駅前地区土地区画整理事業調査特別委員会の設置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議案13号	新しいまちづくり調査研究特別委員会の設置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○=原案に賛成 ●=原案に反対 可=可決

注：廣田光男議長は採決に加わらない。

一部事務組合議会議員

各関係市町で事務を共同・広域処理する組合議会の議員です。

一部事務組合名	議員名
紫波、稗貫衛生処理組合議会	廣田清実 昆秀一
盛岡市（都南地域）、花巻市（大迫地域、石鳥谷地域）、紫波町、矢巾町のし尿及び浄化槽汚泥の収集、運搬、処理や、処理施設の設置と管理に関する事務を行います。	
盛岡・紫波地区環境施設組合議会	高橋安子 村松信一
盛岡市（都南地区）、紫波町、矢巾町の一般廃棄物及び汚泥の収集、運搬、処理や、処理施設の設置と管理に関する事務を行います。	
盛岡地区広域消防組合議会	藤原由巳
盛岡市、八幡平市、滝沢市、雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町、矢巾町の消防に関する事務を行います。	
盛岡市・矢巾町都市計画事業等組合議会	赤丸秀雄 水本淳一 藤原梅昭
盛岡市、矢巾町の岩手流通センターの区域内において、上水道・下水道・終末処理場その他の施設の設置・維持管理と、区域内の緑地及び道路の維持管理を行います。	
岩手県後期高齢者医療広域連合	米倉清志
75歳以上の高齢者等を対象とする後期高齢者医療制度に関する事務のうち、被保険者の資格の管理や、医療給付、保険料の賦課に関する事務等を行います。	



一般質問

一般質問とは、議員が執行機関に対して、町政全般にわたる執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い政治姿勢を明らかにするものです。

6月会議では9人の議員による一般質問が行われ、活発な議論が展開されました。

● 昆 秀一 議員… P 10

- ①新しく町のかじ取りを担うにあたっての新町長の考えは
- ②若い人材の育成
- ③情報公開の重要性に関して

● 村松 信一 議員… P 12

- ①高橋町長の政策を問う

● 赤丸 秀雄 議員… P 14

- ①健康長寿のまちづくりプラン

● 川村よし子 議員… P 16

- ①矢巾スマートインターチェンジ整備事業
- ②消費税増税による町民負担
- ③介護予防事業関連強化

● 小川 文子 議員… P 18

- ①矢幅駅前開発
- ②子育て支援
- ③税務行政の改善

● 高橋 七郎 議員… P 11

- ①第18回統一地方選挙
- ②地方中枢都市モデル事業
- ③西部地区活性化対策

● 川村 農夫 議員… P 13

- ①パストラルバーデンの現状と対策
- ②町道舗装と橋梁効果の遺失
- ③岩手医大との今後の取り組み

● 齊藤 正範 議員… P 15

- ①まちの安全・安心
- ②徳丹城史跡の保存と活用
- ③地方創生の総合戦略

● 山崎 道夫 議員… P 17

- ①まち・ひと・しごと地方創生総合戦略策定に向けた方針
- ②土地利用計画の見直し

※次ページからの各議員の質問と答弁は、紙面の都合上、内容を要約して掲載しています。
なお、詳しい内容を知りたい方は、議会事務局にお問い合わせください。

子ども議会の開催は 来年度から実施を検討



こん 昆 議員
しゅういち 秀一 議員



次世代のリーダーを育成する研修会

質問 選挙権が18歳となった場合のために、政治の問題はしっかりと教育しなければならぬ。

以前にも提言した子ども議会を、ぜひとも町として開催してはどうか。

町長 これまで町内の小中学

校で行っていた「子どもを守る会対策会議」を来年度から「子ども議会」として実施するよう検討する。

質問 次世代のリーダーの育成についての考えは。

町長 矢巾町子ども会育成連合会が行っているリーダー研修において、子ども会のリーダーとしての役割を自覚させるとともに育成を図っている。

質問 若者の定住化を今後どう進めていくつもりか。

町長 第一に、働く場の確保をしていかなければならない。「地域おこし協力隊」を若者の移住だけでなく、町おこしのために利用していきたい。

指名リストの 誤送信説明を

単純ミスであり 今後慎重に行う

質問 今朝の新聞報道による

と、5月に行った指名競争入札で入札前の指名業者リストを業者側に誤送信していたというのだが、そのしっかりとした説明をせよ。

町長 本来送るべきでなかった指名業者リストを誤って送信してしまうという単純なミスであった。

今後はチェック体制をしっかりと取り、慎重に業務を行っていく。

質問 なぜ議会への説明の前に新聞で公表されたのか。

町長 送信した時点で業者への確認をすべきだったが、認識不足から連絡をしなかった。

質問 誤送信を認識しながら業者への連絡をしなかったことに疑問を感じる。

情報が漏れたことで談合が行われる可能性があり、入札中止すべきではなかったのか。

町長 そのような認識に欠けていたことはお詫びするが、今回の入札は適正に行われたと認識している。

中間開票速報なぜなかった 作業工程増加のため



たかはし しちろう 議員
高橋 七郎

【質問】 町長・町議会議員選挙の開票について改善された点、改善を要する点はあったのか。

【選挙管理委員長】 2か所分散していた点検係、計数係を集約し時間短縮や効率化を図られた。

作業の効率化や迅速化に向け検証し、取り組む。

【質問】 有線放送やホームページでの中間開票速報がなぜなかったのか。

【町長】 作業工程が増加することで、開票結果速報の遅れにつながると判断し行わなかった。



町体育館で行われた開票作業

広域圏の 経済戦略は

現状分析や 課題抽出のため

【質問】 地方中枢拠点都市モデル

ル事業のメリットは何か。

【町長】 公共施設の相互利用、雇用の場の創出や都市機能の集積を推進することができる。

【質問】 広域圏の経済戦略を策定したとあるが、その内容は何か。

【町長】 経済戦略は中でも特に重要視点となる、経済活動の活性化について、現状分析や課題抽出し盛岡広域圏の目指す姿や戦略産業を定め、その内容を「連携中枢都市圏ビジョン」に取り組むために策定された。

マレットゴルフ の施設復旧は

西部地区一帯として 整備

【質問】 西部地区の矢巾温泉郷付近のマレットゴルフ場の復旧予定はどうなっているか。

【町長】 第7次総合計画で隣接する水辺の里と併せ、場所や災害の発生などを想定し、矢巾温泉郷などの西部地区一帯として、観光地整備計画の中に盛り込み整備に努める。

重要と捉えている政策は 人口減少対策などである



むらまつ 信一 議員

質問 町長は13項目の公約を掲げて当選されました。政策実現のため第7次総合計画にどう反映させるのか。

町長 総合開発委員会ならびに議員各位の理解のもと、総合計画に反映していく。

質問 重要と捉えている施策は何か。

町長 人口減少対策・高齢者健康寿命の延伸・医大移転および産業振興による定住化の促進である。

質問 掲げている13項目の政策のほか、新たに重要と思われる政策はあるか。

町長 掲げている政策および町民の皆様の声をしっかり受け止めたい。



乳児保育に対応している不動保育園の園児たち

質問 合計特殊出生率が県内最下位であるが、強化対応策をどのように考えているか。

町長 安定した雇用の確保や結婚支援対策に積極的に取り組むたい。

事業 に取り組んでいない理由は何か。

町長 預かり親が少なく、その高齢化のため取り組んでいない。

質問 子ども・子育て支援の、ファミリーサポートセンター

質問 当町で活用していないが、地域少子化対策強化交付金を利用したかどうか。

町長 本町の事業がその交付金と合致するか調査し、前向きに検討したい。

質問 子育てに対する各種相談事は、どこが対応しているのか。

町長 子育て支援センターと生きがい推進課である。

質問 本町の子育て支援事業の特徴はなにか。

町長 通常保育の延長、休日保育・乳児保育サービス・保育料の軽減措置などを実施している。

質問 結婚対策について町独自の支援策を検討しては。

町長 県と連携して取り組みほか、役場全体で知恵を出し合って対応したい。

質問 女性の仕事・子育て両立のため独自に産休支援制度を検討してはどうか。

町長 企業の努力のほか行政として総合的に検討したい。矢巾を日本一子育ての充実した町にしたい。

マース矢巾閉館対策は 西部地域の振興を検討



かわむら あきお
川村 農夫 議員



閉館中のマース矢巾パストラルバーデン

質問 マース矢巾パストラルバーデンの温水源泉の使用料について、矢巾観光開発株式会社との供給契約ならびにその需給状態の現状を問う。
また、鉱泉の利用料が、観光開発株式会社に及ぼす影響

は、どれほどの額になるのか。

町長 本来使用料を徴収するところではあったが、量水器が設置されていないことなどから、使用契約の締結までには至っていない。

推計するに月額25万円、年間300万円程と考えている。

質問 使用契約の締結をせず、放置や看過してきた認識はあるか。

町長 検討したが、配管が複雑だったこと、設置費用が数百万円に及ぶことから設置には至っていないかった。

質問 この閉館対策について高橋町長の見解を問う。

町長 丁寧な対応に心掛け、経緯を精査したうえで、継続への支援策をはじめ課題解決へ取り組んでまいりたい。

また、西部地域の振興の原点に立ち返り検討する。

四郎兵衛橋を 生かせ

地元行政区と

協議する

質問 間野々と北郡山産直に繋がる四郎兵衛橋について、高額な投資をした橋梁を休眠状態にすることはもともと公共事業の主旨に反する。

暫定的であれ効果が表れるように、取り組むべきではないか。

町長 歩車道併せて15mの道路を検討しているが、周辺の道路網との関連で計画された整備を行うか、暫定的に生活道路並みの舗装とするかについては、地元行政区および関係機関と十分協議する。

現在進めている町道整備の進捗状況並びに各地域から要望されている生活道路整備との緊急性・優先性を考慮し、第7次総合計画策定の際に検討していく。

介護保険事業の取り組みは 地域包括ケアシステムを構築



あかまる ひでお 議員
赤丸 秀雄

質問 第6期介護保険事業計画の具体的取り組み項目と、いつの時期までに何に取り組んでいくのか問う。

町長 ①居宅・地域密着型および施設サービス中心の介護サービス充実②介護予防および包括的支援事業中心の地域支援事業の展開③団塊世代が75歳以上となる2025年にかけて介護・医療・介護予防・生活支援・住まいを一体的に提供する地域包括ケアシステムを構築する。

事業期間3年間で事業進捗状況を確認・検証し、目標達成に向け鋭意取り組んで行く。

質問 計画内容の進捗管理を3年ごとの取り組みでは長すぎる。1年ごとの状況把握が

必要ではないか。

町長 事業期間は3年間であるが、進捗管理は毎年3回程行い矢巾町介護保険運営協議会に報告又は、諮問を行い意見、提言を頂いている。

また年2回矢巾町地域包括支援センター等運営協議会で

内容を検証し、福祉施策に反映させている。

質問 介護支援が必要になる前の予防活動支援が重要であるが、3年で優先的に取り組む項目は何か。

町長 本町では25年度に「健



おでんせ広場で行われている介護予防教室

康やはば21プラン」を見直し、特に生活習慣病予防に力を入れて、特定健診の受診率向上と特定保健指導に取り組み、健康づくりの推進を図っている。

また、がんの早期発見、早期治療のためにがん検診受診率向上に努めている。

質問 介護保険料金が今年度から900円上がり5700円となっているが、この額は他市町村と比較してどうか。

町長 岩手県内の平均保険料が5577円で123円上回っていて、24保険者中12番目に位置している。

質問 昨年の料金でも55%の方が保険料を「負担と感ずる」と回答しているが、これをどう思うか。

町長 保険料徴収は収入により10区分としており、区分ごとに負担する仕組みである。サービス品質を維持するため必要であると考える。

自主防災組織への支援は 現地に赴き講演や指導を行う



さいとう まさのり
齊藤 正範 議員



毛布と物干し竿を使った応急担架（煙山自主防災組織）

万が一のけがなどの補償制度が適用になることから、報告を求めている。

質問 各自主防災組織への活動の支援や指導は、どのように行うのか。

町長 今年度、のぼり旗やヘルメットなどの配備を行い、出前講座として、防災担当職員や消防団、矢巾分署の職員が講演や指導を行っている。

究明が必要な箇所を中心に発掘調査を進める。

地域おこし協力
隊員の活用を

地方創生推進の有効
な手段と成り得る

質問 都市の若者らが地方に移り住んで活性化を後押しする「地域おこし協力隊」の隊員は前年に比べ、1.5倍の約1500人となり、地方創生の担い手としての期待が高まっているが考えを問う。

町長 地方創生を推進するため、地域おこし協力隊の活用を検討し対応する。

隊員の約四割は女性、約8割が20〜30歳代、任期終了後約6割が同じ地域に定住しており、やはば産ブランド確立、6次産業化などの施策推進の担い手として、また、若者の移住や定住化の手段の一つであると考えている。

史跡徳丹城整備
遅れないか

究明が必要な箇所を
中心に調査する

質問 町はすべての行政区での自主防災組織の設立を推進し、その活動を期待しているが、各組織の活動状況を把握しているのか。

町長 活動状況は自主的なものなので報告させていないが、組織で防災訓練を行う場合は、

質問 史跡徳丹城の調査は、今年度・来年度と発掘調査せず、資料整理期間の予定であるが、保存整備は遅れないか。

町長 昭和47年に発刊した「陸奥国徳丹城」以降の、調査成果の総括報告書の刊行期間とする。平成29年度以降は、

どう進める道路整備

整備の手法を協議し進める



かわむらこ
川村よし子 議員

質問 矢巾スマートインターチェンジ整備事業で、医大病院入口までの工事費は。

町長 現計画段階での総工事費は約18億円で、うち町負担分は約3億2000万円を見込んでおり、ならびに、アクセス道路整備事業に、約8億円を見込んでいる。

質問 住民要望のある生活道路・通学路の整備計画はどうなっているか。

町長 生活道路は要望の57%の75路線が整備済みであり、今後地元など一路線でも多くの整備ができる手法を協議していく。

通学路は通学路交通安全プログラムを策定し安全に通学できるようにしていく。



工事中の矢巾スマートインターアクセス道路

利益は町民に還元すべき

整備の財源に使用

質問 消費税増税による家計

の負担が増えていることから、水道事業の年間純利益1億2529万円は、町民に還元するべきではないか。

質問 口径別基本料金引き下げと、家庭用従量料金1立方メートルの単価を10立方メートルまで細分化できないか。

町長 基本料金での費用回収率は20%であり、同程度の事業体と比較しても低いことから、引き下げや細分化は考えていない。

介護予防事業強化策は

住民参加型

サービスを構築

質問 国では4月から要支援者サービスが変更されているが、生活機能リスクを改善する計画はどうなっているか。

町長 既存の介護予防事業の精査に加え、多様な「介護予防・生活支援サービス事業」の実施に向け、住民参加型のサービスを構築していく。

創生総合戦略の取り組みは 推進組織を立ち上げ取り組む



やまざき みちお
山崎 道夫 議員



住宅建設が進む医大付近（藤沢地区）

標があるが、現時点で考えている取り組みがあれば示されたい。

町長 第一段階の取り組みとして、町内企業の職種や仕事の内容等について、しっかりと把握することが必要と考えている。

できるだけ多くの企業や事業所を歩き、新たな雇用の掘り起しができないか、話し合いを重ねる努力が必要と考えている。

質問 総合戦略策定に当たって、町民への周知方法と組織の立ち上げについて明らかにされたい。

町長 策定は広く関係者の意見が反映されるようにすることが重要である。町の広報紙等で特集を組み町民にお知らせしたいと考えている。

その上で推進組織を立ち上げ、矢巾町版の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定をスピードアップし、取り組んでいきたい。

土地利用の 見直しが急務

盛岡市等と協議を 重ね対応

質問 岩手医大附属病院の開院により、交流人口を1日当たり約1万人と試算している。病院関係者がもたらす経済効果に加え、定住人口の増加にも期待が高まっている。

特にも関連企業の誘致に向けた土地の確保や定住人口の増を見すえた住宅建設の確保が大きな課題である。

土地利用の規制が厳しい本町であるが、社会環境の変化に対応した見直しが急務であり、今後の対応は。

町長 社会環境の変化に対応するため、盛岡市や滝沢市とも協議を重ね、土地利用計画の見直しを含め検討していく。また、医大関係者の定住化に向けた受け入れに対応するため、さらなる良好な住宅地形成の誘導を図っていきたい。

質問 昨年の11月に、まち・ひと・しごと創生法が施行されたが、それを受け本町においても「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に向け、準備が進められていると思う。4つの基本目標の中に、安定した雇用を創出するとの目

複合施設の経費減を 駅前開発株式会社と協議



おがわ ぶんこ 議員
小川 文子



建設中の駅前複合施設

質問 駅前の複合施設について、子育て世帯活動支援センター内の一時預り事業は、駅西のこずかた保育園でも実施しており、年間維持費分2900万円の削減と3階による安全上の問題から中止できないか。

町長 駅前に必要な施設であり安全面にも問題はないと考えている。

質問 駐車場が狭いため、東側隣接の町有地を専用駐車場として活用できないか。

町長 矢巾町商工会が商業集積ゾーンとして事業計画を策定中で、平成29年度から建設に着手したいとの意向だが、それまでは使用可能である。

質問 年間維持管理費1億円の削減を図るべきではないか。
町長 矢幅駅前開発株式会社と協議し可能な限り削減する。

子どもの

医療費助成は

小学校3年まで

拡充する

質問 子育て世帯へのアンケートでは、経済的支援を求める声が1位であり、本町で特に遅れている子どもの医療

費の助成に対する考えは。

町長 段階的に医療費助成の範囲を拡大する予定であり、本年8月から小学校3年生までの外来について助成する。今後この結果を分析しながら、更なる拡充について検討する。入院については小学校6年生まで4月から助成をしている。

給付方法について、県では未就学児および妊産婦の助成に限り平成28年度から現物給付化を行うこととしており、本町でも導入する予定である。

質問 3人の子どもが保育園に同時入所の場合は第3子が無料となるが、同時入所ではなくても無料にできないか。

町長 本町では、同一世帯から2人以上未就学児童が保育所に入所している場合、第2子は半額、第3子以降は無料としている。

更に義務教育修了前児童がいる場合は、第3子以後は半額としていることから無料化は考えていない。



議会を傍聴する筆者



議会と行政との連携を密に

小田 道男さん（南矢幅7区）

矢巾町に住んでいると言うと、「矢巾町はこれから伸びるから良いですね」と良く言われる。何故、そう思うか聞いてみると、ほとんどの人は、「医大が来るから」と答える。個人的には、駅前開発での過大投資により、これから公債費が増え、人口も減り、大変厳しくなると思っている。

町長も変わった事だし、議員の顔ぶれも変わったから、久しぶりに議会の傍聴に行ってみた。

一般質問の内容も各議員が色々勉強して質問をしているし、新町長や役場幹部の誠意ある答弁を見て、これならまとまって前向きに動いてくれるだろうと安堵した。

昨年、町民と議会との懇談会が2回開催され2度とも参

加した。議会では聞けない細かい質問が出たりして、私はこの会合に賛成であるが、残念なのは、町民の参加者が少ない事である。町が良くなるには、もう少し全町民が、議会と行政との連携を密にする必要があると思っている。

みなさんも 議会を傍聴しませんか

次の9月定例会は9月1日からの予定です。

詳しくは議会事務局まで。

電話019-611-2801

追跡

あの質問はどうなった？

過去に質問したことがどうなっているのか調査しました。

国民保養センターの安全確保は

（平成25年12月定例会）

問 国民保養センターの災害復旧事業は、建設場所が大変危険な場所であることから道路・水路整備に合わせ砂防ダムも必要ではないか。

答 国・県でも下流部の施設に影響を及ぼすと承知しているので治山ダムなどを検討していると聞いている。

現在は



国事業で1基、県事業で2基の治山ダムを設置

議会からのお知らせ

から熱心な質疑

平成27年6月25・27・28日の3日間懇談会を開催しました。今年度、議会が新体制になって初めての懇談会であり、3会場のべ63人の参加がありました。

始めに、議会から諸般の活動報告があり、その後、参加された方々からの質問・意見・要望が出されました。

議会に対しての質疑

町民 会派制にしたメリットは何か。
議員 同じ志を持った議員が集まり、研修などを行うことができるメリットがある。

町民 政務活動費は1か月に2万円必要なのか。
議員 政務活動費を使って研修等を行うことは大事なことでありと認識しており有効利用する。

政務活動費は日当を廃止して新たな予算措置はないものである。

町民 地方創生の取り組みは

どうなっているのか。
議員 議会では特別委員会を設置して検討を進めていく。町としては10月をめどに地方版総合戦略を作成して進めていく予定である。

参加者からの要望・意見

懇談会で出された要望・意見は、各常任委員会で検討のうえ、執行者側に要望していくこととします。

まちづくり

○医大移転にあわせて、住宅地とのバランスが取れた開発や、企業誘致を進めてほしい。

○医大附属病院開院の際、水道水の不足が生じないようにしてほしい。



西徳田2区公民館（6月28日）

議会からのお知らせ

史跡

○伝法寺館の発掘を進めてほしい。

○室岡地区の3ヘクタール遊休地の活用を。

○少子高齢化対策を。

○少子化対策について、若い人の意見も参考に。

○防災に強いまちづくりを。

○徳田小学校の学区変更を考えるのではなく、宅地開発で若者が増えるようにしてほしい。

○徳丹城史跡に芝生を敷いて散策路にしてはどうか。

○旧徳田保育園西側・北側に水たまりが発生するので、砂で埋めることはできないのか。

○徳丹城史跡内で下水工事ができない箇所があり、悪臭が発生するので対策をしてほしい。

○災害のあったマレットゴルフ場が使用できない間、徳丹城史跡を代わりに使用したい。



町民と議会との懇談会 3地区で開催

時間を忘れて参加者

公共施設整備

- 改善センターのトイレを洋式にしてほしい。
- やまゆりハウスの階段が多いので、改修してほしい。
- 保養センター上の砂防ダムを作っていくことになっているが、その後どうなっているのか。
- 複合施設への図書室移転にあたり、利用者数の調査をするべきである。



J Aいわて中央煙山活動センター（6月27日）

- 矢幅駅西口の乗降口のみさしから雪が落ちて使いづらいため対策をお願いしたい
- 町道白北線の北郡山地区のカーブが危険である。
- 四郎兵衛橋の砂利道を舗装してほしい。
- 医大附属病院移転に伴い、県道大ヶ生矢巾停車場線がさらに混雑が予想されるので、対策をお願いしたい。

産業

- コメ余り現象対策を。
- 若者が働ける雇用の場を確保してほしい。

スポーツ振興

- 体育施設の充実を図ってもらいたい。

アンケートでも言われた主な感想



- ・議員の回答時間が長い。
- ・懇談会のPRが不足している。
- ・議員の活動が分かり、大変よかった。
- ・今後の議員の活動に期待します。
- ・清水野の土地改良も考えてほしい。
- ・町民が協力し、知恵を出し合って共同もし合い、ブランド品や観光につなげたい。
- ・他地区の意見も聞きたいので、矢巾町全体の開催を望みます。
- ・各世代の参加により、貴重な意見を聞くことができ参考になりました。
- ・大変皆さん矢巾のことを思っているのだと思いが知らされました。
- ・初めての参加で事前勉強が足りず、皆さんの発言をただ聞くだけで終わりました。
- ・地区ごとの開催で大変良かった。



矢巾町農村環境改善センター（6月25日）



競技中の筆者（写真先頭）



入賞が期待される 本場ヨーロッパでのロードレース

はな だて **花立** ゆう き **優希** さん（日本大学2年 南矢幅4区出身）

全力で駆け抜けた 父のように強く

私が自転車競技に出会ったのは中学2年生の秋のことです。友人に自転車の話をされ、父が自転車競技でソウル五輪の代表候補選手だった事もあり、家に帰ってから「乗ってみたい」と言ったのを覚えています。まさかあの一言からこんなにも人生が変わるとは思ってもみませんでした。

最初は何が面白いのだろうと思いましたが、不思議とのめりこむものがありました。やはりこれも血筋のせいかなと今は思っています。

中学3年生になってからたくさんのレースに出て、勝って嬉しいという感情と、負けて悔しいという感情を初めて味わいました。

父の母校であり、自転車競技部がある紫波総合高校に入ってから、私と同じく、自転車競技で勝ちたいという意思を持ったたくさんの仲間に

会い、全国で勝つことの難しさと自転車競技の奥深さを知りました。高校時代に得た財産はとて大きく、岩手という良い環境で切磋琢磨できた事が今の自分の土台になっていると強く感じます。

そして大学も、かつて父が通っていた日本大学へ入学しました。大学から競技を始め選手でも強い選手はいます。まだまだ自分も強くなる可能性があるという事なので、文武両道で頑張っていきたいと思えます。

8月からは本場ヨーロッパでのロードレースに参加します。何より自転車競技を楽しむ、今以上に好きになれたら良いなと思えます。

これからの競技人生も悔いのないよう全力で駆け抜けたと思いますので、応援よろしくお願ひします。

表紙のよかけ

平成27年5月23日、徳田小学校で運動会が行われました。

天候にも恵まれ、心をひとつにさわやかな汗をかきました。



あとかき

広報広聴常任委員会は、議会広報編集・発行などの広報活動に加えて、新たに増員して意見交換会などの広聴活動の役目も担います。

広報広聴は、これからの議会活動の要になる重要な委員会であり、より一層の努力をまいります。

広報広聴常任委員長
昆 秀一

発行・編集責任者 編集委員

議長	廣田光男
委員長	昆秀一
副委員長	齊藤正範
委員	高橋清実
委員	村松信一



「ご意見はこちらまで」
Eメール: gikai@town.yahaba.iwate.jp

いわてやはば議会だより193号
平成27年7月16日発行